

広告審査会レポート

日本一般用医薬品連合会・広告審査会 編集／発行

〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-8-15（イトーピア岩本町一丁目ビル4階） TEL. 03 (3865) 4911

発行 平成29.1.23

第253回 広告審査会

日 時 平成28年10月21日(金) 14:00～17:00

場 所 日本OTC医薬品協会 第一会議室

審査委員 (第三者委員) 亀井昭宏、古澤康秀、堀美智子、小山千穂
(委員) 野端正人、栗田宏一、武田一樹、大村忠仁、川庄尚
古家孝之、中林久佳、数野哲、望月克彦、上村浩

審査対象 テレビ広告 60素材 } 合計102素材
新聞・雑誌広告 42素材 }

審査対象期間 テレビ広告 平成28年7月25日～平成28年9月16日

新聞・雑誌広告 平成28年7月28日～平成28年9月28日

○事前に配布された資料をチェックした限りでは、今回の審査会は比較的議論が少なく、割合短時間で終了するのではないかと期待していたが、いざ開会されると冒頭から議論が沸騰して、予想以上の審査時間を要する結果となった。議論沸騰の対象となった商品は保健薬に該当するものであったが、これまでの私の記憶ではこのカテゴリーの商品の広告は(指定)医薬部外品が多く、また医薬品であっても広告表現は比較的穏やかで常識的(!?)なものが多かったこともあって、それほど議論を要しないで「適正」との結論に至っていたのが通例であった。

今回論議の対象となったのは、改良された新製品(第3種医薬品)であるとのことで、「新しく生まれ変わった」という訴求を中心にして、従来商品と同様の効能・効果の訴求にポイントが置かれているテレビCMであった。しかし、訴求の中心である効能・効果に関しては、以前出稿され、既に「不適正」あるいは「注意」という結論となった「承認の範囲を逸脱している」との判断に至った表現個所と全く同一の点をも含めて、問題個所がそれぞれ4点にわたって存在するものであった。結果として「不適正」および「注意」の判定がいくつも並ぶという誠に遺憾な結論に至ったのは、消費者利益の確保という視点で審査のお手伝いをさせて頂いている身にとっては本当に切ない思いであった。ぜひ関係者の方々の真剣かつ誠実な対応を期待したい。

また、訴求効能はほとんど同一(ないしは類似)であるとしても、原材料が異なることからすれば効能作用のメカニズムも異なっているはずであり、前身のブランド名を生かした新ブランド名を使用することの妥当性などの点についても疑問や指摘が見られた。この点については、審査の判断形態に関する最近の改定(今年2月8日付け)の際の配慮もあって、幸いなことに該当広告主へ照会を行い、その回答を待って改めて審議を行うという手続きを内容とする「調査」という判断形態が設けられていたことから、この点については当面「調査」という結論とすることで、今しばらく判定を先伸ばしにすることになった。

より正確な情報を得て審査を行うべきことは当然であり、その意味では上記の点についての今回の結論は有意味であったとしても、万一その広告表現が「不適正」あるいは「注意」という結論になれば、当該広告表現の修正に関するタイムリミットが設けられていることからすると、そうした問題を抱えた表現の広告出稿期間がさらに伸びてしまうことになる。そうしたことを防ぐためには、該当広告主からの回答をできるだけ速やかなものにするべく新たな手立て(例えば、書面による回答の前に面談やメールを使っての先行回答の導入等)を講じるとともに、審査の進め方についても何らかの工夫(例えば、持ち回りによる審査や、メールを使っての審査会委員の意見聴取や評決など)があっても良いような気がする(もちろん、その場合の審査の対象は該当する案件にのみ限定すると同時に、直近の審査会の席上で結論の再確認が行われる必要があることは言うまでもない)。微妙な問題であり、また慎重な検討が必要であろうが、何らかの機会に検討して頂ければ、と思っている。

○テレビCMの審査件数のほぼ半数程度であった新聞広告については、論議を要した表現案

件は比較的少なく、「注意」という結論に至ったものが2件あったものの、「不適正」と判定された広告はゼロであった。1件はケアレス・ミスとも言える(しかし、ガイドライン事項としては重大な)薬種区分の未表示としての「注意」であったが、もう1件は、広告中のグラフの利用の仕方についてであった。なお、その他にテレビCMと同様に「調査」扱いとされた商品の広告が1件あった。

広告中のグラフの使用に関しては、ガイドラインにもある通り、適正な使い方がなされる限り商品の効能や特性を消費者に分かりやすくできるという点で、個人的には有効な表現形態だと考えている。今回も、新聞広告で該当する広告が2-3件審査対象となっていたが、グラフの使用ないしは表現において、中学生でもしないような不適格なグラフの作成の仕方や提示は、消費者の誤認を防ぐためにも当然避けられるべきであろう。広告製作者だけでなく、社内チェックの際に常識的な判断が十分に下されるように配慮いただくことが、OTC医薬品広告への消費者の信頼を確保するためにも必須であることを強調させて頂きたいと思う。

○本審査会の審議形態が改定されて以来、毎回20名程度の傍聴者に同席を頂いている。本審査会が開かれた会であるべきだ(審査委員の発言を生で聞いていただき、審査会が公平かつ客観的に進行されていることを周知徹底させたい)ということをお願いしていた身にとっては極めて嬉しい事態となっており、連合会並びに広告委員会の尽力に対して心からの感謝と敬意を表したいと思う。また、毎回長時間に亘って熱心に傍聴してくださっている方々(傍聴者)の熱意に対しても、同様に心からの敬意を表するものである。

ただ、どういう方々が出席をされているのか、製薬業界人ではない者にとっては全く不明であり、いつも可能な方々だけでも自己紹介か名刺交換位させて頂く機会があっても良いのではないかと考えている。傍聴者としての同席は事前届け出制になっているはずであり、連合会事務局としては出席されている方々のお名前やご所属を把握されているだろうと思うが、業界側委員であっても全員の傍聴者の方々と面識をお持ちの方はおられないであろうから、そうした情報を共有することに特に強い反対はないはずだと考えている。

審査の対象となる商品の広告主関係者あるいは担当代理店などの広告関係者が同席されているからと言って、席上での発言に差を付けるつもりは全くないが、どういう方々が同席されているのかを知ることは、発言ないしは指摘についての意識や責任感を一層高める何らかの重みになり得るのではないかと考えている。また、審議の過程で当該商品についての確認必要事項などが生じた場合などに、もしも該当広告主の関係者の方がおられれば、その場で速やかに情報を提供して頂くことや、委員間の判断の相違についての説明や助言などを聴取することもできるのではないだろうか。

ペーパーレスの時代に入った今日であれば、いちいち名簿に筆記していただく代わりにタブレットなどに名前や所属機関名を打ち込んでいただき、それを委員間で回覧するなどの方法によって、事務局担当者へそれほどの負担をお掛けしないで実現できるのではないかと考えている。また、これまで審査会議事録に記載のない毎回の傍聴者の人数を明記することも、事実の記録として意味があるのではないだろうか?これについてもぜひご検討をお願いしたいと思っている。

以上

審査結果

◎テレビ広告

- ・しみ・全身倦怠用薬（2素材不適正2件、注意6件、調査2件）

指摘箇所：効能効果等の表現の範囲

見 解：＜不適正＞

承認の範囲を逸脱している：「防ぐ」は以前不適正としているが修正されていません。

〔基準3(1)、ガイドライン3(3)〕

指摘箇所：効能効果等の表現の範囲

見 解：＜注意＞

承認の範囲を逸脱している：「色素沈着」と「くすみ」が並列であたかも同義語のように同一画面で表示されるのは好ましくありません。「色素沈着」と「くすみ」は別のものなので読み替えはできません。

〔基準3(1)、ガイドライン3(1)〕

指摘箇所：効能効果等の表現の範囲

見 解：＜注意＞

承認の範囲を逸脱している：紫外線と関連つけて、シミ・そばかす対策と表現しているため、予防的誤認を与えます。

〔基準3(1)、ガイドライン3(1)〕

指摘箇所：本来の効能効果等と認められない表現の禁止

見 解：＜注意＞

承認の範囲を逸脱している：進化したポイント（〇〇配合）によるパワーアップがすべての効果にかかっています。メカニズム的に該当しません。

〔基準3(9)、ガイドライン10(2)〕

＜調査＞

- ① 「進化した」とは何をもって言っているのですか。
- ② 効能効果、薬効分類が異なる医薬品同士を比較してよいのですか。
- ③ 基準最大量配合とは、何の基準ですか。

◎新聞広告

- ・健胃薬（1素材1件）

指摘箇所：広告を行う者の責務

見 解：＜注意＞

グラフの表記が不正確：年齢別のデータと患者データは分けるべきです。

[基準第2]

- ・外用鎮痛消炎薬（1素材1件）

指摘箇所：医薬品等の品位の保持等

見 解：＜注意＞

区分表示が正しくされていない：ガイドラインに照らして記載が不十分です。

[基準15、ガイドライン22]

<調査>

- ・しみ・全身倦怠用薬（1素材1件）

承認された効能効果と追加した配合成分の関係性について。

(〇〇が新配合されたことで効能追加されたものではありません。△△増量と加わることで効能が追加されたのですか)

TV CM
審査対象リスト

広告主	商品名	秒数	広告主	商品名	秒数
佐藤製薬	ユニケル 黄帝液	15	ライオン	バファリンルナ J	60
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	120	ライオン	バファリンルナ J	60
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	120	ライオン	バファリンプレミアム	60
富山常備薬グループ	リョウシン J V錠 cp	120	ライオン	バファリン EX	60
富山常備薬グループ	リョウシン J V錠	15	興和新薬	エルペインコーワ	15
エーザイ	チョコラBBローヤル2 cp P	60	ライオン	スマイル40メディクリア	60
エーザイ	チョコラBBローヤル2 cp P	30	ライオン	スマイル40メディクリア	60
エーザイ	チョコラBBローヤル2 Pcp ~10/31 支援	15	ライオン	スマイル40メディクリア	60
大正製薬	リポビタン D P	15	ライオン	スマイル40メディクリア	60
大正製薬	リポビタン D	30	ライオン	スマイル40メディクリア	60
武田薬品	アリナミン V	15	ライオン	スマイル40プレミアム	60
小林製薬	チクナイン錠	15	ライオン	スマイル40プレミアム	60
浅田 飴	こどもせきどめ {ぶどう味・いちご味}	15	ライオン	スマイル40プレミアム	60
大正製薬	パブロンSゴールドW {微粒}	15	ロート製薬	養 潤 水	15
龍角散	{龍角散・龍角散ダイレクトスティック}	15	ロート製薬	ロートジ-b(ロートジ-プロc)	15
ライオン	ストッパ下痢止めEX(ストッパエル下痢止めEX)	60	ロート製薬	新 緑 水	15
ライオン	ストッパ下痢止めEX(ストッパエル下痢止めEX)	60	ロート製薬	Cキューブプラス ビタフレッシュ	15
ライオン	スクラート胃腸薬S 散剤	60	久光製薬	エア-サロンパスジェットa(DX)	30
ライオン	スクラート胃腸薬S 散剤	60	資生堂	イハダ プリスクリードD	15
ライオン	スクラート胃腸薬S 散剤	60	第一三共ヘルスケア	ロキソニンS テープ	15
ライオン	スクラート胃腸薬S 散剤	60	エーザイ	サクロフィール錠	30
ライオン	スクラート胃腸薬S 散剤	60	クラシエ薬品	ココアポ{G錠・EX錠・L錠}	60
田辺三菱製薬	タナベ胃腸薬ウルソ	30	クラシエ薬品	ココアポ{G錠・EX錠・L錠}	15
田辺三菱製薬	タナベ胃腸薬ウルソ	60	クラシエ薬品	漢方セラピー クラシエ漢方薬甘草湯エキス顆粒	15
エスエス製薬	イブクイック頭痛薬DX	15	佐藤製薬	アセス(アセスL)	15
シオノギヘルスケア	新セデス錠	30	小林製薬	アイボンWビタミン	15
シオノギヘルスケア	{セデスハイ・セデスハイG}	30	大正製薬	リアップX5プラスローション	30
ライオン	バファリンルナ J	60	養命酒製造	養命酒 Pcp	60
ライオン	バファリンルナ J	60	養命酒製造	養 命 酒	30
ライオン	バファリンルナ J	60	武田薬品	ハイシ-ローヤル	15

新聞広告
審査対象リスト

広告主	商品名	媒体名	広告主	商品名	媒体名
大正製薬	リポビタミン総合	朝日新聞	救心製薬	救心錠剤	読売新聞
ライオン	バファリンプレミアム	朝日新聞	大正製薬	リポビタミンD	読売新聞
エーザイ	新セルベール整胃錠	読売新聞	武田薬品工業	アリナミンA	朝日新聞
救心製薬	救心錠剤	読売新聞	富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	読売新聞
太田胃散	太田胃散A	読売新聞	再春館製薬所	痛散湯	朝日新聞
武田薬品工業	アリナミンVDRINK	朝日新聞	常盤薬品工業	南天のど飴	読売新聞
武田薬品工業	アリナミンVDRINK	読売新聞	小林製薬	清肺湯ダスマック顆粒	朝日新聞
小林製薬	アンメルツNEO	朝日新聞	わかもと製薬	強力わかもと	朝日新聞
佐藤製薬	ユンケル黄帝液プレミアム	朝日新聞	興和	新キャベ2コーワ	日経新聞
興和	キューピーコーワiプラス	日経新聞	再春館製薬所	痛散湯	朝日新聞
大正製薬	リポビタミンDキッズ	読売新聞	第一三共ヘルスケア	ロキソニンS外用薬シリーズ	読売新聞
アンターク本舗	ネオシーダー	読売新聞	第一三共ヘルスケア	ロキソニンS外用薬シリーズ	朝日新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞
再春館製薬所	痛散湯	読売新聞	あかひげ薬局	ハシービグロ	読売新聞
富山常備薬グループ	キミエホホワイトプラス	朝日新聞	救心製薬	救心	読売新聞
大正製薬	リポビタミンライフ	日経新聞	再春館製薬所	痛散湯	日経新聞
富山常備薬グループ	キミエホホワイトプラス	読売新聞	太田胃散	太田胃散A	読売新聞
再春館製薬所	痛散湯	朝日新聞	カボニー産業	松寿仙	読売新聞
大正製薬	リポビタミン総合	朝日新聞	興和	キューピーコーワゴールドaプラス	読売新聞
再春館製薬所	痛散湯	読売新聞	龍角散	龍角散ダイレクト総合	読売新聞
大正製薬	リポビタミンD	読売新聞	町田製薬	たこの吸出し(吸出し青膏)	読売新聞